

# 第66回日本心血管インターベンション治療学会 関東甲信越支部 運営委員会議事録

日 時：2025年10月11日（土）13:40～14:20

会 場：大手町サンケイプラザ 4F 第1会場『ホール』

出席者：160名

欠席：84名

## 議題

### 1. 第66回地方会会長挨拶（伊藤良明先生）

会長の伊藤先生よりライブの視聴者数、現時点での参加者数、演題数について報告がなされた。

### 2. 新運営委員ならびに異動報告

【報告】

#### 【新運営委員】

① 高見澤 格 榊原記念病院

② 飯塚 大介 千葉西総合病院（ご欠席のため、次回に持ち越しとなった。）

#### ※連続欠席について

運営委員は、地方会にきて趣旨を理解して各地域で普及啓発をしていただくことが役割である。4回連続欠席で運営委員としての資格を失うため、地方会の予定を確保いただくよう周知された。

#### 【直近3年内に発表が無い施設】

・東千葉メディカルセンター

→運営委員が不在のためリストから削除

・社会医療法人新潟勤労者医療協会 下越病院

### 3. 今後の地方会開催について

【報告】

・第67回地方会について（2026.5.9）

→大会長の藤本善英先生（国際医療福祉大学成田病院）よりご挨拶がなされた

・第68回地方会について（2026.10.8-9）

→大会長の新家俊郎先生（昭和医科大学）よりご挨拶がなされた

・第69回地方会について（2027.春）

（高橋佐枝子先生）

・第70回地方会について（2027.秋）

（山口淳一先生）

・第71回地方会について（2028.春）

（石井秀樹先生）

・第72回地方会について（2028.秋）

（日比潔先生）

また、第67回、68回大会の收支予算の説明がなされた。

### 4. 第65回（2025/5/9 会長：武安法之先生）地方会会計報告

【報告】

→大会長の武安法之先生（茨城県立中央病院）より会計報告がなされた。

### 5. 運営委員推薦と今後の選出について

【承認】

・運営委員増やすために就任をストップしていたため、現在の推薦20人について審議された。

1	皆月 隼	東京大学医学部附属病院
2	新村 大輔	横浜市立市民病院
3	飯田 大輔	イムス葛飾ハートセンター
4	石原 龍馬	河北総合病院
5	サツキヤ サンデ イーブ	河北総合病院
6	大場 祐輔	自治医科大学
7	土井 信一郎	順天堂大学医学部附属順天堂医院
8	陣内 博行	自治医科大学附属さいたま医療センター
9	山本 慶	練馬光が丘病院
10	土山 高明	東京都立広尾病院
11	岡田 興造	横浜市立大学附属市民総合医療センター
12	大塚 文之	横浜市立大学医学部
13	小徳 のぞみ	聖マリアンナ医科大学
14	中西 啓太	つくばセントラル病院
15	谷地 織	東京新宿メディカルセンター
16	衆田 真吾	聖マリアンナ医科大学
17	辻田 裕昭	昭和医科大学医学部
18	小嶋 啓介	日本大学医学部附属板橋病院
19	深町 大介	日本大学病院
20	小林 範弘	済生会横浜市東部病院

・同じ施設からの推薦も多く、定員の問題の今後あるため、見直しが必要である。

運営委員には会からメッセージを届けてもらうお役割があり、同施設より3名以上にいると効果がない。

→多くの施設より選出するために、1施設当たりの人数を3名までとする方向で周知を行い、次回の運営委員会にて決議する方針となった。

(但し、現委員の先生が辞任いただくことはなく、推薦をストップするのみとする。)

## 6. 運営委員退任について

【報告】

・櫻井 俊平（北信総合病院） ・池 信平（埼玉石心会病院）

→ご出席されていた池先生よりご挨拶がなされた。

## 7. 規約改定について

【承認】

改定前	改定後
第6章 運営資金と会計監査、会計報告	
支部学術集会	地方会
第16条 会計監査、会計報告は次の規定に従う。 (1) 支部学術集会会長は、学術集会の終了後に収支決算を速やかに行い、会計監事による監査を受けなければならない。 (2) 学術集会の会計報告は、次期の学術集会の際に、幹事会と運営委員会において、支部学術集会会長が行う。 (3) 東京ライブデモンストレーション実行委員長は、ライブ終了後に収支決算を速やかに行い、会計監事による監査を受けなければならない。 (4) 東京ライブデモンストレーションの会計報告は、次期の学術集会の際に、幹事会と運営委員会において、主催責任者が行う。	第16条 会計監査、会計報告は次の規定に従う。 <b>(1) 地方会は以下のように定める。</b> I 会長は、地方会全体の事業計画および収支予算案を作成し、開催1年前の定時幹事会で承認を得なければならない。 II 開催前年の幹事会で収支概算を報告し、承認を得なければならない。 III 幹事会にて承認された予算を超える支出見込みとなった場合は、速やかに幹事会に報告し、開催内容の見直しを図らなければならない。 IV 地方会会长は、地方会3か月以内に収支概算書ならびに開催報告書を提出しなければならない。 V 地方会の会計報告は、次期の地方会の際に、幹事

	<p>会と運営委員会において、地方会会長が行う。</p> <p>VI 終了後、年度末までに会計監査を終えた収支決算書を支部事務局に提出する。</p> <p>(2) 東京ライブデモンストレーションは以下のように定める。</p> <p>I 実行委員長は、地方会全体の事業計画および収支予算案を作成し、開催 1 年前の定時幹事会で承認を得なければならない。</p> <p>II 開催前年の幹事会で収支概算を報告し、承認を得なければならない。</p> <p>III 幹事会にて承認された予算を超える支出見込みとなった場合は、速やかに幹事会に報告し、開催内容の見直しを図らなければならない。</p> <p>IV 実行委員長は、ライブ終了後 3 カ月以内に収支概算書ならびに開催報告書を提出しなければならない。</p> <p>✓ 東京ライブデモンストレーションの会計報告は、次期の地方会の際に、幹事会と運営委員会において、主催責任者が行う。</p> <p>VII 終了後、年度末までに会計監査を終えた収支決算書を支部事務局に提出する。</p>
--	---

## 8. 支部選挙管理委員会 立ち上げ報告

【報告】

### ●役員について

(敬称略)

委員長 中村正人

東京 小川崇之 上妻 謙 新家俊郎 田中信大 林田健太郎 矢嶋純二 山口淳一

茨城 武安法之

栃木 阿部七郎

群馬 安齋 均 石井秀樹

埼玉 緒方信彦 武藤 誠

千葉 小林欣夫 松村昭彦

神奈川 阿古潤哉 伊苅裕二 菅野晃靖 高橋佐枝子

新潟 高橋 稔

山梨 佐藤 明

長野 宮下裕介

- ・次の代議員定数は 366 名、うち女性は 32 人以上となった。関東甲信越支部においては、代議員 129 名、うち女性 13 名以上となる。

- ・11/15 被選挙人の意思確認と ID と PW が送付され、来年 3 月に選挙となる。

## 9. メディカルスタッフ部会の報告

【報告】

### ・タスクシフト研修

タスクシフト、タスクシェアを推進するに際し、研修を行ったほうがよいため、テルモのメディカルプラネックスを借りてテルモと CVIT の合同開催について計画されている。

- ・メディカルスタッフのカテ介助については、内閣府でのヒアリングが行われ、整備が進められている方向性であるため、このような企画を進めていくことが重要であり、支部として助成金を支出する。

- ・メディカルスタッフ活動助成金が 3 団体に支給された。

第22回神奈川カテ室メディカルスタッフ研究会  
第19回栃木県カテーテル室スタッフ研究会

10. 本部からの報告

・専門医制度について

専門医機構が8月20日に説明会を行った。専攻医1000人あたりにつき、3つ領域を認めるなど、サブスペ専門医について指標を出してきてる。日本循環器学会のカテゴリー3については、CVITと不整脈心電学会は規定路線である。

・日本循環器学会ガイドラインについて

安定冠動脈疾患につづき、ACSガイドラインが新家先生を中心に動いており、現在メンバー選定中である。

日常臨床との不一致、疑問に思うことをガイドラインに記載したほうが良い項目があれば、メールなど文書が残るかたちでCVIT事務局や新家先生へ直接連絡するよう周知された。

・CVIT誌について

紙媒体の廃止が決定した。(印刷、発送のコストが大きい)

インパクトファクターは5.7である。コンセンサスドキュメントを定期的にアップデートしながら論文化の際に引用していただき、インパクトファクターを維持するための働きかけについて周知された。

・腎デナベーションについて

2社承認されたため、そのほかの会社も参入してくると予想される。

適正使用指針はCVITのHPに掲載しているため、ご確認をお願いしたい。

手技は一部IVRの先生が施行する施設もあるが、CVIT会員であることが多いため、各施設でご準備をお願いしたい。

(保険償還は3月予定)

以上